

先見TOP interview

## 企業は〈物語〉を 提供できているか

経営コンサルタント

**神田昌典**

関ヶ手・山口晋史

好評連載

井熊 均  
井徳 正吾  
今井 激  
鎌田 慧  
小松 義夫  
境野 勝悟  
高橋 陽子  
沼崎 益夫  
横田 尚哉  
和田 努

特集

# 〈演劇〉で身につける 全方位コミュニケーション

清話会セミナー講演録

**江田憲司** 来るべき真の政権交代に向かって

**高橋洋一** 「菅官接近」が増税を招く

**星 浩** 民主大敗で岐路に立つ日本の政治

# 企業は〈物語〉を提供できているか (前編)

「見えている企業」が付加価値の高いビジネスモデルをつくる

聞き手▶山口晋史 株式会社フロ・アクティフ代表



1枚のチャートを使って思考テクニックを磨く「全能思考」著者の神田昌典氏は、カリスマ経営コンサルタントとして数々の企業経営をサポートしてきた。世界における日本企業のあり方とは。今号と次号の2度にわたり話を聞く。

団塊世代が消え

若い層が残った

山口 最近神田さんの講演会に来る層が変わってきたそうですね。

神田 10年前は50代、60代の経営者を中心でしたが、今は30代、20代の若手が増え、大学生もいます。つまり、感性がまた柔らかい層だけが残りました。

山口 団塊世代と今の若手が生きる時代背景の違いも関係しているのでしょうか。

神田 例えば1980年代の日本は、今のようないくつかの社会的な役割があり、職場に女性の姿はあまり見られなかった。それなのに家に帰ると、「家庭に問題が起こるのはあなたが仕事一筋だから」と奥さんから文

句を言われ、男性は立つ瀬がなかったんですね。そう考えると、団塊世代は職場や家庭で積み残してきたものが多かったのかもしれない。

山口 なるほど、だから講演会に来なくなった。彼らには神田さんの言葉が痛みを伴って伝わるのでしょうか。若手が増えたことで何か変わりましたか。

神田 僕が最初に教えているのはダイレクト・マーケティングです。今はインターネットがビジネスに大きく関与するので、これを知らないと話になりません。ITリテラシーの高い会社では特にその傾向が強い。

山口 ダイレクト・マーケティング自体が付加価値になるのでしょうか。

神田 いや、なりません(笑)。



## 先見TOP interview

with 株式会社 ALMACREATIONS 代表取締役

# 神田昌典

ホスト

## 山口哲史 (やまぐちてつし)

1961年兵庫県生まれ。関西学院大学商学部卒業後、リクルートなどを経て90年、現(株)プロ・アクティブの創設のファインド・アクティブを設立。竹100%でできた繊維など自然でビューアなエネルギーを活用した「人を自然に動かせる(ラディアンズ)力」のある健康、美容商品の企画・販売を主とする。社内外ともに「ガッパさん」の愛称で親しまれている。

<http://www.pro-active.co.jp>

必須ですが、あくまでもビジネスの前提として覚えるものです。40代までの経営者の大半は、模索状態でビジネスに必要なものを採っています。

### 経営者に欠かせない

#### 社会貢献の視点

神田 そのなかで、「見えていない人」や実践会に参加している企業は動きが速い。彼らは、例えばグローバルビジネスを計画してから半年以内に海外進出しています。その頭のなかには、中国など新興国に対するCSRの視点もあります。

山口 以前は「売上をどう上げるか」といったことばかり考える経営者が多かったのに、変わりましたね。  
神田 そうした相談は随分減りました。最近では、新規事業を

どう創造するかといった内容にシフトしています。どの会社も経済環境の変化を見つめつつ、自社のあり方を考え、正しい道に進んでいるかを検証しながら行動するところが増えました。

山口 中国といえば、インターネットを使ったECビジネスが活況を呈しています。  
神田 数カ月前に元ヤオハン代表の和田一夫さんが、「ECビジネスが中国で本格稼働するには10年はかかる」と話していました。しかし、今年6月にポータルサイトを運営するヤフト、中国大手オークションサイトのタオバオがECビジネスで提携し、物流や決済関係の障壁はなくなりました。両国の文化的な違いはあるものの、日本製品を販売できる環境は整っています。こうした時代の潮流を正しく認識し、それに向けて手を打てる企業だけが生き残るのです。

山口 CSRの視点を持って事業を行っている面白い企業はありますか。  
神田 国内では甲府市に「猫カフェ」を運営する動物病院があります。この病院は、「命を大切にする」を猫カフェのコンセプトとして掲げました。カフェには病院で保護した猫がいて、そこに来た猫好きなお客さまに里親になってもらおうのです。そうした行為を通じて、子どもも命の大切さを教えられる。猫カフェは新しい社会貢献ビジネス、あるいは教育ビジネスと言えるでしょう。

山口 ビジネスとしても成り立つのですか。  
神田 もちろんです。猫カフェのコストは、主にエサ代、衛生管理費、ワクチン代、引退後の処置費用など。里親になった人は、この動物病院を利用するこ

とが予想されます。さらに動物病院と違って猫カフェは広告を打ちやすく、集客しやすいといった利点があります。

山口 一見すると猫カフェだが、猫カフェではない。  
神田 こうした例は、人々がどこに願望や飢餓感を抱いているかを知り、そのギャップを埋めるためにどうビジネスを構築していくかのヒントになります。

山口 中国進出の目的を金儲けに置くな  
神田 先ほど、海外進出の話が出ましたが、中国でのビジネスに関してはいかがですか。  
神田 日本企業が中国に進出する原動力は「儲かるから」です。

山口 80代の経営者のなかには、「中国に恩を感じている」と言う人がいます。これは蒋介石が戦後、人口の6分の1が餓死する状況でも、「徳を以て怨に報いる」として日本の戦後賠償責任をチャラにしたからです。また、日本のビジネスインフラ

でも、金儲けではなく、恩返しのためと言う人もいます。  
山口 恩返しですか。  
神田 80代の経営者のなかには、「中国に恩を感じている」と言う人がいます。これは蒋介石が戦後、人口の6分の1が餓死する状況でも、「徳を以て怨に報いる」として日本の戦後賠償責任をチャラにしたからです。また、日本のビジネスインフラ

## 柔らかな感性をもって時代の潮流を見極めよ